

保育事業部門

<p>外部環境の変化</p>	<p>保育部門においては、横浜市と県域とで違いがある。 目まぐるしく制度が変わっていくことに対応していくことが難しく、国の考え方と保育の現場の現状とがかみ合っていない。一方待機児童の増加はしばらく続く傾向が見られるが、地域全体に共通されるものではない。 保育士不足は大きな課題であり、処遇改善等の制度が導入され、保育士のモチベーションアップにつながっているが、業務内容に見合う職員配置が出来ないと、慢性的な人材不足は免れない。</p> <p>配慮が必要とされる利用者の増加に伴い、多種にわたる対応ができる保育者が求められる。</p> <p>保育施設の増加により、保育士不足や定員割れなどの弊害が地域によってはでている。</p>
<p>ビジョン</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全ての児童と保護者のニーズに応じて、健全に成長していけるよう援助していく。(一時保育の充実・サービスの充実)</li> <li>・ 現状の人材・施設を活用して、地域の子育て支援事業を充実、拡大していくと共に、地域との連携を深めていく。</li> <li>・ 職員の向上しようとする意欲を見出し、外部研修に加え法人内の研修制度の確立に力を入れ人材育成を行い組織の質を向上させる。</li> <li>・ 保育士以外の専門分野に適応できる人材(心理カウンセラー)が必要である。</li> <li>・ 法人全体で情報を交換しあい、社会状況を把握しながら、地域における公益的な取り組みの推進と、活動内容の情報を発信していく。</li> </ul>

